

Shin-Zenkoji Temple Exhibition

November 17 – December 1, 2018

Open: 10:00am – 4:00pm

Admission: 500yen



770年余、代々伝わる寺宝
皇室の御遺品を初公開。

大方丈瓦葺き替え工事完了記念

秋の新善光寺展



繪本山御寺泉涌寺

準別格本山

一條殿

新善光寺

平成30年

11月17日(土) ~ 12月1日(土)

拝観時間 10時 ~ 16時 拝観料 500円

【3日間限定】11月23日(金) ~ 25日(日)

拝観料 + お抹茶と和菓子 1000円

公開講座「新善光寺の歴史と文化」

講師：泉涌寺宝物館学芸員 西谷功氏

11月17日(土)、11月23日(金) 14時 ~ 14時30分 定員：先着20名 無料



大方丈瓦葺き替え工事完了記念

秋の新善光寺展

来る平成30年12月は、現住熊谷信康が、一條殿 新善光寺第十七世住職を拜命してから十五年にあたります。その間、新善光寺の環境整備に力を注ぎ、本堂天井や大方丈廊下等々の修理、掛け軸・仏像の修復を肅々と遂行して参りました。重なるゲリラ豪雨、暴風で大方丈の瓦の滑り落ちやび割れ、雨漏りによる天井のシミ等が目立ち始め、これに伴ない当山大方丈の瓦葺き替え工事を推し進めました。この間、当山檀信徒各家の御寄進を仰ぎ、平成29年9月からこの修復を始め、平成30年7月に無事に完遂いたしました。これを記念し、新善光寺を皆様により知っていただくことに主眼を置き、本堂、大方丈にて770年余、代々伝わる皇室の御遺品や寺宝である掛け軸等を初公開します。

① 唐人物図 狩野周信筆 ② 鯉の図 狩野探幽筆 ③ 孤雲正瑞宗師 おもて面右より、煙草盆／象香炉／置炬燵／長恨歌詩巻第一巻(一部)



一條殿 新善光寺

総本山御寺泉涌寺 準別格本山

寛元元年(1243年)、後嵯峨天皇の勅願により創立、本尊は信州善光寺阿弥陀如来と同仏像に鑄造された鎌倉時代の作である。

後嵯峨天皇は常に宮中に安置なされ、都の内外万民に至るまで信濃の國へは遠き山路を越え、日を経ずしては到着することができず、また、志あれども思うにまかせざる者の為に、一条大宮に大梵刹をおこし「値願」を請して開山、寺号を「新善光寺」と賜るにはじまる。応仁年間に兵火にかかるが、文明5年(1473年)後土御門帝の勅により泉涌寺に移され現在に至る。

交通のご案内
●JRでお越しの場合：京都駅(八条口)から、タクシーで約10分／京都駅(鳥丸口)から、市バス(208)にて泉涌寺道下車、徒歩10分／東福寺駅(奈良線)から徒歩15分
●京阪電車でお越しの場合：七条駅から市バス(208)にて泉涌寺道下車、徒歩10分 紙園四家駅から市バス(207)にて泉涌寺道下車、徒歩10分／東福寺駅から徒歩15分
●市バスを利用される方へ：注意、市バス202、207、208は循環バスです。必ず東向きに運行しているバスにご乗車ください。



〒605-1097 京都市東山区泉涌寺山内町31
本堂 大方丈 玄關 表門 中門は京都府指定文化財に登録されています。

